

第3章

指導改善のポイント

ねらいと見方

ねらい：実際に出題した問題をもとに、各学校における指導の参考にさせていただくため、児童生徒の解答状況や学習指導のポイントをまとめたものです。

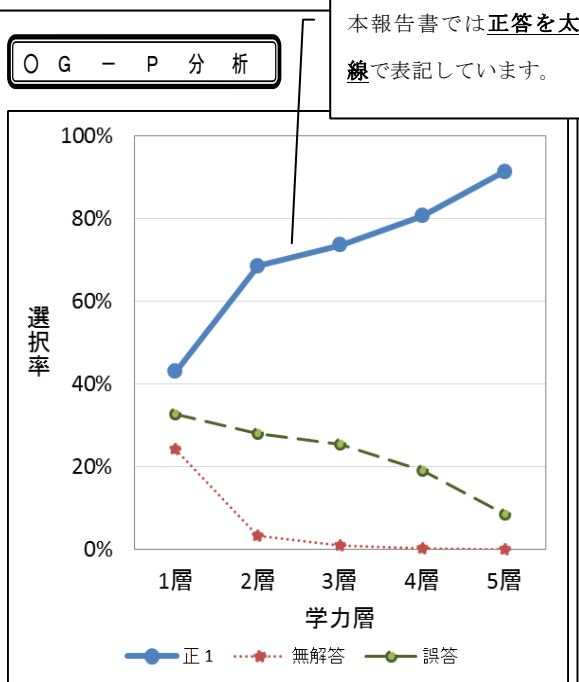
誤答分析やG-P分析で、該当する内容を学んでいる児童生徒が問題をどのように理解しているかの参考にしてください。

G-P分析表の見方

G-P分析表は、正答数に応じて児童生徒を5段階に区分し、段階（学力層）ごとにどのような解答類型を選択しているかをグラフ化したものです。

学力層によって、問題への解答状況が異なることは、児童生徒の理解の様子を反映していると考えられますので、指導の参考として掲載しました。

例えば、右の図では、児童生徒の学力層が1層から5層に上がるにつれて正答（図中の太線「正1」）を選択した割合が高くなり、逆に下位層では誤答や無解答の割合が上位層よりも高いことがわかります。



活用方法

○ 年間指導計画・学習指導案作成や校内研修会の資料として活用いただけます。